



# 三春中学校だより

第13号

発行日 令和元年6月21日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【今年も田村高校生と交流！ ～新体力テストのお手伝い、そして、集団行動披露～】

6月18日(火)の2～4校時に新体力テストを実施しました。東日本大震災・原発事故後の健康維持にむけ特に注目される新体力テスト。前回記録の更新をめざすなどそれぞれの種目に真剣に取り組みました。

それをお手伝いいただいたり記録アップのアドバイスをしてくれたりしたのが田村高校体育科の2年生。体育館ステージ上であいさつをいただいた後、各種目・各会場に分かれてお手伝いをいただきました。

立派な体格、鍛え上げられた身体を前に、中学生たちも種目に熱が入りました。もう一つ圧巻だったのが最後に披露いただいた体育科名物“集団行動”。「ウォー。」という歓声が幾度も聞かれ、一糸乱れぬ美しさに感動する表情が印象的でした。

自分の限界に挑戦する姿勢がとてすてきでしたし、地元の高校生との交流もまた楽しいものとなった新体力テストでした。



## 【県P連の一員として！～県P連小中懇談会、理事会・常置委員会に参加してまいりました。～】

令和元年6月17日(月)に行われた第27回福島県PTA連合会小学校中学校懇談会、理事会・常置委員会に、田村P連代表として本校会長様と事務局長が参加してまいりました。

午前中に行われた懇談会では、開会行事の後、懇談会に移り、その懇談テーマは、「8年を経過しての各単P、市町村連P、郡市連Pの状況の変化について」と「子どもたちを取り巻くスマホやSNS等について」の2テーマに関する情報交換・意見交換でした。

6班に分かれてのバズセッション形式の話し合いでは、参加者による熱心な協議が行われました。東日本大震災・原発事故に関する捉え方は地域によってさまざまであるという現実や出来事を風化させず注意深くその推移を見守りながらも、子どもたちや保護者が前を向いてみんなが笑顔になれる取組を心がけようという意識や実態は共通していました。スマホ・情報機器・SNS等に関しては、買い与えた者の責任、買い与えられたという自覚の下、その扱い方や意識の醸成に関する啓発活動が大切であるというお話でした。

指導・助言では、正しい情報発信の在り方を身につけ、県土福島を他に誇れる福島にしていこう。子どもたちにたくましく生き抜く力を身につけさせよう。メディアパトロールやメディア指導員養成制度を取り入れ活用しよう。そのために各自がアイデアを出し合い、この先どうなるかという不安の払拭のため実態に応じた新しい取組も必要である。より多くの人を巻き込んだ改善策をPTA・学校・地域が一体になって作っていこう。未来を作る子どもたちのために。という内容の指導・助言をいただきました。

午後の理事会・常置委員会(総務・研修・調査広報・健全育成・安全互助の5委員会)では、理事会において常置委員会の委員の任命があり、田村P連代表である本校は、研修委員会委員に任命され、本校佐久間会長様が研修委員会委員長に選出されました。研修委員会は、郡市P連母親代表者懇談会を中心に研修・講習会関係の活動に取り組みます。

田村地方の各単Pからのご意見等を県に伝達・反映させるべく取り組んでまいります。

## 【第1学年『食育』授業！ ～脳にスイッチ、体にスイッチ、おなかにスイッチ～】

6月19日(水)の5・6校時を皮切りに、第1学年において、本格的『食育』第1弾、『生活のリズムは朝食から』の授業が、栄養教諭と学級担任とのT・Tで始まりました。

先日行った朝食アンケートで第1学年の朝食摂取率は94.5%と過去最高を記録したということはお知らせしましたが、残り5.5%の子どもたちにもぜひ朝食をとる習慣を身につけてもらいたいとの願いから、“朝食を摂る習慣がついている生徒の成績は摂らない生徒のそれよりずっと高い。”、“朝食を摂れば体温が上がり、それ以降の活動がスムーズになり意欲も出てくる”“排便が促されおなかがすっきりする”など、朝食の効果を学習した後、全員が朝食の習慣を身につけ、1日をアクティブに過ごせるようにするにはどうしたらいいのかについて話し合い、発表し合い、学び合いました。

最後に、そこは中学生！家族が作ってくれなくても自分で作ることが当たり前。味噌玉、簡単オム

レツ、野菜をレンジで“チン”と簡単朝食の作り方も学びました。

本校では今後も“よりよく食べることはよりよく生きること”という方針の下、『つながる食育』に継続して取り組んでまいります。『脳のスイッチ』『体にスイッチ』『おなかにスイッチ』の朝食の効果は、3年生になっても使いますので、覚えておいてください。



**【欠席・体調不良者減少傾向！ ～咳・発熱等への対応に感謝します。～】**

先日の『生徒の健康管理についてのお願い』配付後の対応に際しましてはご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

おかげさまをもちまして、欠席者・体調不良者が激減してきています。これまでの対応について気を緩めることなく、今後も子どもたちの健康な生活をめざし、共に取り組んでまいりたいと存じますのでどうぞよろしくお願いいたします。

**咳や百日咳、風邪等への学校の対応について**

- (1) うがい・手洗いにしっかり取り組む。
- (2) 咳エチケットを励行する。

《咳エチケット3か条》

- ① 咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえまわりの人から顔をそむける。
- ② 使用後のティッシュはすぐに蓋つきのゴミ箱に捨てる。
- ③ 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努める。

- (3) 換気、空気の入替えに定期的に取り組む。
- (4) バランスのよい食事と十分な休養を心がける。(早寝、早起き、朝ごはん)
- (5) 咳がみられた場合、可能な限り早期に病院を受診する。

**【何かあったのかな？ ～雑巾が乱雑に掛けられていました。～】**

校舎内では、合唱部が放課後の練習を開始し、校庭では、ソフトボール部の先生と生徒が一緒になって部活動後の後かたづけに取り組んでいました。

“共に、ひたむきに、そして、こころ豊かに”という経営方針の下では、自分たちが使いさまざまなことを学ばせていただけるグラウンドを生徒と先生が一緒になって整えることは、“共に”や“こころ豊かに”の部分ととてもつながる大切な活動だと考えます。

そんな中、ふっと眺めるといつもはきちんと掛けられている校務センター前の雑巾がけに乱雑に雑巾がのっけられていました。昨日は通常の清掃活動で、私も子どもたちと一緒に校長室と会議室の雑巾がけに取り組みましたが、たまたま何か忙しいことがあったのかな？

